

F Me-niwa 平成27年度第4回放送番組審議会議事録

開催年月日：平成27年11月20日（金）12:00～13:00

開催場所：株式会社 あいコミ 恵庭市島松寿町1丁目28-10

審議内容：10月からの新番組「市民手作り番組チャレンジ放送」

出席委員数：7名

10月からの新番組「市民手作り番組チャレンジ放送」について下記の通り番組の審議がなされました。

【ご意見】

チャレンジ放送について

- ・音質、音声の一部聞き取りにくい箇所があった。
- ・音楽講師の方の声が聞きやすかった。
- ・中国出身の方の恵庭での暮らしの様子や文化の違いなどもわかって良かった。もっと、恵庭在住の外国の方の様子も知れたらいいと感じた。
- ・それぞれの時間で担当されてるボランティアパーソナリティの方々が自身の好きなことを一生懸命話されているので、楽しく聞くことができた。
- ・自分に持っていない情報がたくさんあったのと、手作り感があって良かった。
- ・一部、話しの相槌が入ってくるときに、聞きにくかった。

番組全般に関して

- ・昭和56年の「56水害」では、漁川の堤防が決壊した。当時は、誰も決壊するなどと思ってもいなかった。有事の際の連絡網も放送設備等もなく、電話連絡のみで初動がおくれたり対応に追われていた。ラジオという放送局の存在意義は大きい。
- ・火災や事件事故等の中継時は、放送することで野次馬を増やしかねないのでは？
→回答：「消防作業にご理解とご協力を」といったコメントを付けて対応していく。

その他

- ・すばらしい番組表があつて市内の各所には設置されていると思うが、もっと、身近なところにあるとうれしい（例えば、地域情報誌などにも掲載できればよい）
- ・幼稚園や、保育園、学童クラブ等とも有事の際の情報共有ができれば良い。

【放送局からの返答】

委員から頂いた感想・意見を元に、より質の高い番組を制作担当に求めています。

【出席者数】

総委員数 13名(敬称略)

○ 出席 7名

阿部深貴、内倉真裕美、福祉協議会・加藤孝子、坂上信之、
田口明美、天水千鶴、中村正人

○ 欠席 6名

神田美佐子委員長、井内聖副委員長、佐藤悠菜、早川剛志、
盤野薫、吉田孝子

○ 放送事業者側出席 5名

代表取締役 三浦孝史、職員 三浦 真吾、スーパーバイザー 松崎霜樹

審議会の答申又は、意見の概要を公表した場合の公表内容

公表方法 自局内放送および局内掲示板にて

公表内容 上記の概要

公表年月日 平成27年 12月 10日